

今後の方向性と第5回の振り返り

豊かな学びに向けて



先導的な学び

- ◇子どもを主語とした授業への質的改善
 - ・自ら設定した課題の解決に向け取り組む探究型の学習
- ◇学びの充実
 - ・大学や専門機関等とICTを活用した授業の実施
- ◇多様なカリキュラムの導入
 - ・実体験を重視した学習の推進
- ◇学校施設の活用
 - ・特別教室を市民等に開放
 - ・学校体育館の市民体育館化
- ◇地域コミュニティの拠点
 - ・学校施設の中にフリースペースを設置
 - ・市民に開放し世代を問わずいつでも学べる環境づくり
 - ・多目的な機能を備えた図書館の設置
- ◇民間の力を活かす学童の設置

不登校児童生徒への対応

- ◇子どもの多様性を認める環境づくり
 - ・学校内における支援体制の強化
 - ・天神スクール(夜間中学)や総合教育センター(ふれあい教室)との連携

【中央地区のメリット】

- ・どこからでも通いやすい立地
- ・学区に県や国等の専門機関等があり、連携・協力した学びが行える。
- ・3校ともにこれまでの学びがあり、清明小学校では、防災教育に取り組んできた実績がある。
- ・学校の見守りたいが充実している。
- ・福島市教育の原点がある。

